

## (1) 新 DCTP 会議活動報告

座 長 水 野 裕 央

幹 事 長 横 山 明 正

### ◇活動の概要

当会議（DCTPとは、「Dreams Come True Project」の略です）は、昨年度に引続き、人口減少問題等を踏まえた「20年後の山梨のあるべき姿」の新たな提言に向け、検討・作業を進めて参りました。

具体的には、これまで、山梨県の人口減少対策として提言してきた「山梨県を女性が活躍できる地域としてPRし、就職や起業、子育ての場として移り住んでいただく環境整備の推進」については、未来山梨創生委員会・未来の山梨を考える部会の「女性活躍パートナー会議」に委ね、側面からサポートを実施して参りました。

また、地域の活性化を展望すると、デジタル化の流れに上手く乗り、生産性の向上や新しい価値の創造に繋げていくことが重要なことから、最新のICTの勉強会を日本の主要なシステムベンダーである株式会社NTTデータのご尽力を頂き、勉強会を開催しました。

さらに、20年後の山梨のあるべき姿を展望し、「やまなしグランドデザイン 2021」を起案し、常任幹事会で説明し、議論を深めてきたところです。

なお、幹部会については、昨年秋以降、感染症の拡大の状況を踏まえ、電話やメールなどによるやりとりとし、対面を控えて運営してきました。

### ◇活動実績報告

- ICTに関する勉強会（2021.6.11 ベルクラシック甲府 講師：株式会社NTTデータ）
  - ・株式会社NTTデータへの打診・問題意識の伝達・テーマの擦り合わせ（複数回）
  - ・株式会社NTTデータセミナー「NTT DATA Innovation Conference」（Web、2021.1.28～1.29 代表幹事、幹部で視聴）
  - ・株式会社NTTデータとの勉強会の擦り合わせ第1回（オンライン、2021.5.19）
  - ・株式会社NTTデータとの勉強会の擦り合わせ第2回（オンライン、2021.6.1）
  - ・ICTに関する勉強会（2021.6.11 ベルクラシック甲府 講師：株式会社NTTデータ）
    - 感染症の状況に鑑み、会場の感染防止対策に万全を尽くすとともに、オンラインでの参加も可能とするようハイブリット形式で開催。
- ① 「デジタルでともに創る新しい社会」
  - （第5金融事業本部・決済ITサービス事業部 杉崎恵悟部長）
- ② 「生活者と企業が共生する時代へ（B to CからB with Cへの潮流）～デジタルの時代だから

大切にしたいこと～」

( I Tサービス・ペイメント事業本部・S D D X事業部 内藤一章部長)

③ 「NTT DATA Technology Foresight 2021～社会とビジネスに変革をもたらす最新技術動向・活用事例～」

(技術開発本部 下條彰 シニアエキスパート)

・欠席者等のための勉強会の模様の事後配信 (Web、2021.6.22～6.28)

■ 「やまなしグランドデザイン 2021」

・「やまなしグランドデザイン 2021」を起案。常任幹事会で説明 (2021.5.13 古名屋ホテル)

・これまで頂戴しているご意見 (および追加点) としては、以下のとおりです。

—— なお、座長の講演会の中でも山梨県内の方々の反応を確認しているところ。

- ① 「住んでみたい、来てみたいと思うような豊かな山梨県」を目指すべきではないか。
- ② 各種専門学校 (農業、音楽、ゴルフ、芸能、C A、ダンスなど) を山梨に誘致することによって、若い世代から山梨を知ってもらうことが将来の居住、観光に繋がるのではないか。
- ③ 甲府駅前の街づくりの活性化をもう少しプレイアップしてはどうか。
- ④ 国際会議・国際展示場を誘致することによって、富裕層の観光集客に繋がらないか。

◇今後の活動方針

今後は、引き続き、他の主要 I Tベンターの協力も取り付けたうえで、I C Tに関する勉強会を幅広くかつ継続的に展開していくことを目指していきたいと考えています。

また、「やまなしグランドデザイン 2021」については、山梨県全体としての地域活性化、地域創生といった観点から起案しているため、県、市町村、企業経営者等と意見交換しながら議論を深め、活用していくことを展望しています。

なお、今後については、「やまなしグランドデザイン 2021」の中で出てきた新しい切口・分野などについて、必要な専門家などにもアプローチをかけ情報収集に努めていくとともに、内容に応じてメンバーを適宜アサインするなど、柔軟な検討体制を構築していく方針。

以上



I C Tに関する勉強会  
(2021.6.11 ベルクラシック甲府)